

多高通信

第122号 平成27年9月25日発行

部活動 夏の大会レポート!

ラグビー部 KOBELCO CUP 2015

■我妻 言 (3年6組 西山中出身)

この夏私たちはU-18 東北代表として、コベルコカップに出場してきました。代表チームの中には、昨年花園への出場を果たした選手や、自分たちよりもはるかに大きい選手がいて、驚くばかりでした。また、社会人チームの神戸製鋼の方々にご指導していただいたり、元日本代表の大畑大介さんの講話を聴く機会があったり、とても勉強になりました。

満足のいく結果を残すことはできませんでしたが、大会を通して新しい仲間が増え、新しい発見があり、本場に充実した4日間でした。この大会での活躍を受け、本校から安孫子萌人君がU-18 東日本代表に選出され、来年1月に行われる花園大会決勝の前に行われる試合に出場できることとなりました。本校から東日本代表選手が選出されたことを誇りに思い、これからも頑張りたいと思います。



吹奏楽部 東北大会金賞受賞!

■副部長 鈴木 玲奈 (3年6組 塩竈三中出身)

私たちは、先月行われた全日本吹奏楽コンクール東北大会において金賞を受賞しました。全国大会に出場するという目標には届かない結果となってしまいました。汗も涙も共にした仲間たちと最高の夏を過ごすことができました。この3年間で得たものは何にも代えられない宝となりました。これまで様々な形で吹奏楽部を支えてくださりありがとうございました!

合唱部 全日本合唱コンクール金賞!

■部長 木村 百花 (3年1組 高砂中出身)

こんにちは、合唱部です! 私たち合唱部は8月24日にNHK合唱コンクール宮城県大会、29日に全日本合唱コンクール宮城県大会に出場してきました。NHKでは実力が発揮できず銅賞となりましたが、そこから1週間、全日本合唱コンクールでよい結果が出せるようさらに練習に取り組み、全日本の方では金賞を受賞す

ることができました。

金賞を受賞することができたのは、日頃からご指導して下さった顧問の山内尚先生、菅原未来先生、講師の先生方、そして支えてくれた保護者の皆様のおかげだと思っております。皆様の応援に金賞受賞という形で応えることができ、とても嬉しいです。ありがとうございました!

女子テニス部新人大会 ダブルス3位入賞!

■部長 木村 優 (2年1組 田子中出身)

今回、私たち女子テニス部は、宮城県新人大会で、シングルスで2人がベスト32、1人がベスト8、そしてダブルスで1ペアが3位入賞という結果を残すことができました。これまでの大会でも入賞経験はありますが、賞状をいただけたのは今回が初めてなのでとても嬉しいです。個々の努力は非常に大切ですが、普段から共に練習し、大会当日は試合に出場しないにもかかわらず応援をしに来てくれた1年生や、熱心に指導して下さる先生方の支えがあった結果だと思っています。団体戦では、先輩方が果たすことができなかった東北大会上位入賞を目指して、部員全員で練習に励んでいきたいと思っています。



JICA 出前授業

8月24日、途上国への国際協力を行っているJICAが派遣する青年海外協力隊として、タンザニアで2年間活動を行った白石工業高校の菅原景一先生に、地理の授業においてお話ししていただきました。



■伊藤夏奈子 (3年6組 多賀城中出身)

今までは物やお金があれば豊かだと思ってきましたが、先進国の支援によって造られた建物や物資の写真をみて、途上国の人たちにとっては必要ではなかったり、使い方が分からなくてそのままになっていたり、せつかくの支援も無駄になっていることがあると知りました。途上国

にとって本当に必要なサポートを先進国が理解し支援することが大切なのだと思います。

HLAB TOHOKU

サマーセミナー

8月14日から21日、女川でHLABサマーセミナーが行われ、本校から6名の生徒が参加しました。震災復興を支援する団体「TOMODACHIイニシアシブ」が主催し、教育、文化交流、リーダーシップ等のプログラムを通し、日米の次世代のリーダーの育成を目指したセミナーです。

■工藤 綺乃 (1年6組 中野中出身)

全国の高校生や国内外の大学に通う日本人大学生、ハーバード大学やコロンビア大学の外国人大学生の人たちと1週間を過ごしました。セミナーでは会話全てが英語で行われ、英語が苦手な私にはとても大変でしたが、それ以上に楽しいことがたくさんありました。この1週間の経験は私にとって、とても大切なものとなりました。皆さんも、自分にとって大切な経験をぜひ一度してみてください!



水難安全教室

着衣のままの“背浮き”に挑戦中



8月26日、宮城海上保安部・巡視船くりこま潜水士の寺門保安官ほか15名の方々をお招きし、水難安全教室が本校プールで開かれました。雨の降る肌寒い中、着衣のままプールに入る着衣泳や、空のペットボトルを使って浮く背浮きなどの実習をしました。

■木幡 瑞輝 (1年1組 東仙台中出身)

自分の体だけで背浮きをしたときと、ペットボトルを持って行った背浮きでは、浮力が全く異なっていました。その他にも具体的な体験をとおして安全に救助するための正しい知識を丁寧に教えていただきました。今後海に行く機会があれば、今回のことを生かして安全に楽しみたいと思います。

創立40周年記念 第26回多高祭!

8月28日、29日の2日間、第26回多高祭が開催されました。1日目の校内発表では、文化部のステージ発表のほか、岩手県立宮古工業高校機械科の

津波模型班が製作した「仙台湾周辺津波模型」の寄贈式が行われ、翌29日の一般公開で展示・実演されました。一般公開はいく

津波模型の実演



の空模様でしたが、579名の方々にご来場いただきました。フィナーレには、結婚式場のCMソング「ハレル夜」でおなじみの幹ヨシ・さんによる創立40周年記念ライブが行われ、心に残る多高祭となりました。

■多高祭実行委員長 沼田 七海 (3年2組 東仙台中出身)

今年は例年よりも少し早い開催となり、夏休み中に準備を始めたクラス・団体が多く見られました。私たち実行委員は、1日目の校内発表の企画を考えたり、模擬店出店のサポート、装飾・アーチの作成をしたりと大忙しでした。私はステージ係として、男装・女装コンテスト「多高コレクション」と、腕相撲大会「剛腕選手権」の2つの企画を実施しました。意見がまとまらず苦労しましたが、試行錯誤を繰り返して本番は大成功でした。また、2日目はあいくの雨模様でしたが、多くのお客様にご来場いただきましたし、それをお迎えする多高生の笑顔は天候にも負けにくいくらい輝いていました。

普段はまじめに勉学に取り組む多高生ですが、行事のたびに意外な一面が見られ、本場に充実した2日間となりました。

ゆかたや着ぐるみなど衣装も様々です。



雨の中、模擬店も大盛況でした。

本校よりお知らせ!

10月10日、本校で災害科学科の説明会を行います。入学を希望される中学生や保護者の方々、地域の皆様など、多くの方々のご来場をお待ちしています。詳しくはHPで!